

今から話すことは、私が進路指導部長として一番大事にしていることです。今までもそしてこれからも、何度もみなさんに伝えることです。よく覚えておいてほしい。今日は新年度最初の集会ということで、私の所信表明演説です。

高校を卒業して次のステージに進む際に一番重要なことは何か。それは、自分の進路に「納得」することです。ちゃんと自分の中で「納得」して次のステージに進めるかどうか。これが一番大事です。学歴や偏差値が無意味とは私は思っていますが、一番重要だとも思っていない。二の次です。一番重要なのは、自分が納得できるかどうかです。

卒業生がよく遊びに来て、大学の話などをしてくれます。今の生活がとても楽しい。やりたいことがたくさんある。この大学に行って良かった。そう言ってもらえる時が、私が一番うれしい時です。卒業生をみていると、自分の進路に納得している人は、やはり次のステージで前向きに過ごせています。そして、大学受験のときに自分が納得いくまで考えたり努力したりできた人は、大学卒業後のステージを選ぶときも、同じように納得して選び、そしてそのステージで前向きに過ごしています。

では逆に、納得できていない、前向きに過ごせていない人はどんな人か。残念ながら卒業生の中にそういう人もいます。共通点が二つあります。

一つめ、精いっぱい勉強できなかった人です。「もっとちゃんと勉強してたら、もっと違う選択肢を選べたんじゃないか。」という思いが拭い去れないまま大学生活を過ごしている人です。もっと端的に言う、「自分はこんな偏差値の低い大学に来たくはなかった。もっと勉強していればもっと上にいけた。」そう思っている人です。これは非常に危険で、こじらせると、「同級生が自分に合わない」「教授のレベルが低い」、つまり「自分は悪くない」と言い出します。家庭の事情などで思うような受験勉強ができなかった人も中にはいますが、多くは、高校時代に努力しきれなかった人です。

二つめ、ちゃんと進路を考えなかった人です。適当に選んだ進路だから特に頑張りたいことがあるわけではない、という人です。こういう人が一番苦労するのは、大学在学中の学業ではなく、卒業後の進路選択です。同じように適当に考えてしまうと、就職活動や就職後がとても大変なことになるのはみなさん想像がつくでしょうか。

以上 2 点、この学校の卒業生を長年見てきて感じているところです。

私が進路部長としてあなたたちに求めることはただ一つ。「ちゃんと納得してすすめ」、これだけです。ただし、納得するためには、精いっぱい勉強すべきだし、精いっぱい進路について考えるべきです。みんながそれをできるよう、先生たちは全力でサポートします。新年度になりました。何かをスタートするにはいい季節です。気持ち新たに頑張りましょう。

以上。